

浜田開府400年祭実行委員会 事業報告書



と き あ す
時代を超えて 明日につなぐ

400年に想う未来—新たな浜田の物語



浜田開府400年祭実行委員会

目次

ごあいさつ	2
浜田開府400年祭記念事業の概要	4
浜田開府400年祭の軌跡	6
・プレイベント	7
・浜田開府400年祭記念式典	11
・記念事業	13
・後援事業・市民主催事業	20
・協賛商品	25
・広報・P R	27
資料編	31

■ 浜田開府400年祭を振り返って



浜田開府400年祭実行委員会

会長（浜田市長） 久保田 章 市

浜田藩は、今から400年前の元和5年（1619年）、伊勢国松坂藩から転封した初代藩主・古田重治公により開かれました。新たに城が築かれ、隣接する津和野藩領と共に、城下町の建設や港の整備により、経済・社会が発展しました。また、藩校教育などの人材育成が行われ、文化や伝統芸能、特産品が育まれ、現在の浜田市の基礎が築かれました。

世紀に一度という節目の年に巡り合わせた浜田市は、平成30年（2018年）2月8日、浜田開府400年祭実行委員会を立ち上げました。実行委員会では、開府400年を歴史的な一大事業として捉え、「歴史・文化の再認識と次世代への継承」と「交流人口・関係人口の拡大」を基本方針としながら、特に令和元年度に行う記念事業を「浜田開府400年祭」と総称し、官民一体となって事業を推進してまいりました。

浜田開府400年祭は平成31年（2018年）4月29日の「石州浜っ子春まつり」で開幕し、「出張！なんでも鑑定団」や「NHKのど自慢」の番組誘致、全国の浜田姓と新たなご縁を結ぶ「全国の浜田さんいらっしゃい事業」などを行いました。さらに、「浜田川で舟あそび」や住民参加創作ミュージカル「群青～濱田誕生、そして未来へ～」の上演をはじめ、市民が中心となり取り組まれた多種多様なイベントが開催されました。フィナーレとして位置づけていた令和2年（2020年）3月14日開催予定の「北前船寄港地フォーラムin浜田」は、新型コロナウイルスの感染防止措置のため残念ながら中止しました。

令和元年（2019年）10月13日に開催した「浜田開府400年祭記念式典」には、浜田市と歴史的な縁のある方々や市民など1,000人を超える皆様にご来場いただき、浜田の歴史を一緒に振り返りました。壇上では次の100年の主役となる園児の堂々としたステージパフォーマンス、小中学生による「夢・未来」作文コンテストの表彰、高校生による書道パフォーマンスで花を添えていただきました。特に、「400年に想う未来～次の100年に向けて～」をテーマに、大人たちが見守る中で地元の大学生や若手経営者が中心となって討議が行われたことは大きな成果であったと考えております。

現在、開府400年という歴史的な節目に立つ私たちには、キャッチフレーズ「時代を超えて明日につなぐ 400年に想う未来－新たな浜田の物語」にありますように、ふるさとの歴史・文化を再認識し、次代を担う子どもたちへ継承していくことが求められています。本事業を通じて、市民の皆さん一人一人が故郷の未来を考え、ふるさと浜田への愛着と誇りを育んでいただけたのではないのでしょうか。

結びに、浜田開府400年祭記念事業に多大なるご支援とご協力をいただきました実行委員会の皆様、関係者の皆様、そして、ご参加いただいた市民の皆さんに深く感謝と敬意を表すとともに、「元気な浜田」を未来へつなぐまちづくりへの引き続きのお力添えをお願い申し上げ、ごあいさついたします。

■ 浜田開府400年祭を振り返って



浜田開府400年祭実行委員会

副会長（浜田市議会議員） 川 神 裕 司

浜田開府400年祭記念事業報告書発刊にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

今を遡ること400年前の1619年、伊勢国松坂藩主であった古田重治公が石見国浜田の地に転封し、新たな城を築き浜田藩が開かれました。そしてこの開府を機に、湊の整備や城下町が形成され、今の浜田の礎となりました。

令和元年度は、浜田で開府されて400年目の年にあたることから、4月29日の「石州浜っ子春まつり」を皮切りに、30を超える各種イベント等の記念事業を一年を通して開催してきました。全国的に認知されている「出張！なんでも鑑定団」や「NHKのど自慢」等の誘致イベントの開催や、「浜田川で舟あそび」のような新たなイベントも生まれました。一方、令和2年1月から国内で流行し始めた新型コロナウイルスによる感染対策のため、「山陰浜田港リレーマラソン」、記念事業のフィナーレとして予定していました「北前船寄港地フォーラムin浜田」につきましては、やむを得ず中止といたしました。

しかしながら、これらのイベント等には多くの市民の皆さんが参加され、大いに盛り上げていただきました。心から感謝申し上げますとともに、先人が守り受け継いできた浜田の歴史・文化を改めて認識され、ふるさとへの愛着と誇りを感じられたことと思います。また、浜田市を訪れた観光客の皆さんも各種イベント等を通して、400年前の浜田に想いを馳せ、喜んでいただけたのではないのでしょうか。さらに、浜田開府400年祭記念事業を契機に、浜田藩と津和野藩の領地であった地域が混在する現在の浜田市における市民間の理解も進んだものと考えております。そして、何より未来を創っていく子供たちに作文コンテストやパネルディスカッションを通じ、開府400年という時代の大きな節目を感じ、夢を語る機会を設けることができ満足しています。

本事業は、キャッチフレーズを「時代を超えて明日につなぐ」と定め、様々なイベント等に取り組んでまいりました。事業は今年度で終了いたしますが、浜田市の次の100年の発展に向け市民の皆さんが一致団結して努力していくことが大切だと思います。本報告書が次の100年につなぐ資料になれば幸いと存じます。

最後になりますが、浜田開府400年祭記念事業に対し、多大なご尽力をいただきました関係者の皆さんに敬意と感謝を申し上げますとともに、今後とも浜田市発展のためご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさつといたします。

■ 浜田開府400年祭記念事業の概要

■ キャッチフレーズ

と き あ す
時代を超えて 明日につなぐ

400年に想う未来—新たな浜田の物語

■ 基本理念

- 1、浜田藩は、1619年（元和5年）に、伊勢国松坂から浜田に転封した初代藩主・古田重治公によって開かれました。
- 2、現在の浜田市へつながる浜田藩領と津和野藩領は、城下町の建設や港の整備によって、経済・社会がともに発展しました。
- 3、2019年（平成31年）は、浜田藩が成立してから400年を迎える節目の年です。
- 4、開府400年をきっかけに、みんなでまちのルーツを探り、ふるさとへの愛着と誇りを育みましょう。

■ 事業方針

▶ 歴史・文化の再認識と次世代への継承

開府400年を契機に浜田の歴史や文化、まちづくりを振り返り、郷土への愛着と誇りを高めます。

また、浜田の次の100年を担う世代に継承し、更なる発展を考える機会とします。

▶ 交流人口・関係人口の拡大

400年の時を経る中で、浜田は多くのご縁をいただけてきました。

これらご縁のある先人たちとの絆に感謝すると共に、次の100年に向けご縁を深めます。

また、関連イベントの実施により交流人口と関係人口の増加を目指します。

■ ロゴマーク



▶ ロゴマークに込めた思い

積み上げてきた歴史（文化、思い）を浜田城跡の石段・石垣のモチーフで表現しました。

上部には、市の花「つつじ」をあしらひ、より良い未来が花開くように願いを込めました。

円形をイメージさせるデザインは、浜田の人々のやさしさ、過去から未来へのつながり、浜田藩領と津和野藩領を越えた5自治区の一体感、人と人とのつながり（縁）を想起させます。

■ イメージポスター



▶ ポスターに込めた思い

上下に分割された絵の中には文化、港、まち、産業の変化を対比させることで、過去⇒現在の歴史から未来を想起させるビジュアルにしました。

積み上げた400年に想いを馳せながら、次の時代へ物語（バトン）を、今度は自分たちで「積み上げていく」という意思が込められています。

■ 浜田開府400年祭の軌跡

■ プレイベント（平成27年度～平成30年度）

■ 記念式典・記念事業（令和元年度）・・・・・・・・・・16事業

■ 後援事業・市民主催事業（令和元年度）・・・・・・・・・・21事業

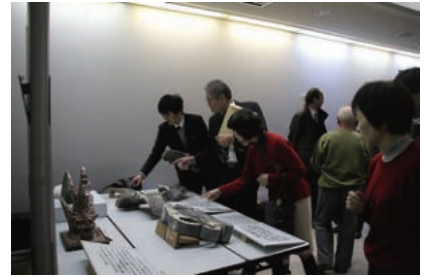
■ 協賛商品（平成30年度～令和元年度）・・・・・・・・・・14点

■ 広報・P R（平成30年度～令和元年度）



■ プレイベント(平成27年度～平成30年度)

▶ 浜田開府400年記念プレ講演・座談会



2019年に向けて、市民の郷土の歴史や文化に対する関心を高めるために、島根県立大学コンベンションホールで、計4回、講演及び座談会を実施しました。

《第1弾》 平成27年11月22日(日) 13:00～16:40 参加人数:210名

テーマ: 浜田藩の成立と終焉 そして未来へ

◇講演

「浜田藩の成立と松坂との交流」吉田悦之氏(本居宣長記念館館長)

「激動の幕末と浜田」岩町功氏(石見郷土研究懇話会会長)

◇座談会

・パネラー 上記講演者、佐野綱由氏(元津山郷土博物館館長、美作濱田会理事)

・コーディネーター 久保田章市氏(浜田市長)

《第2弾》 平成28年10月29日(土) 14:00～17:00 参加人数:190名

テーマ: 江戸時代の浜田から広がる地域交流

◇講演

「浜田開府からはじまる地域交流」久保田章市氏

「浜田藩主・松平周防守家と棚倉・川越」飛坂基夫氏(初雁温知会理事)

「浜田藩主・松平右近将監家と津山」佐野綱由氏

◇座談会

・パネラー 上記講演者、吉田悦之氏、斎藤晴子氏(浜田市観光ボランティアガイドの会会長)

・コーディネーター 久保田章市氏

《第3弾》 平成29年12月17日(日) 13:30～17:00 参加人数:210名

テーマ: 江戸時代の浜田と港～北前船の寄港と流通～

◇講演

「浜田港の成立と展開」岩町功氏

「津和野藩と港－たたら製鉄を中心として－」隅田正三氏(西中国山地民具を守る会会長)

「客船帳からみた浜田港の物流」阿部志朗氏(島根県立浜田高等学校教諭)

◇座談会

・パネラー 上記講演者

・コーディネーター 久保田章市氏

《第4弾》 平成30年11月17日(土) 13:30～16:30 参加人数:120名

テーマ: 浜田のまちづくり・人づくり

◇講演

「城下町浜田の要－浜田城を探る－」堀田浩之氏(兵庫県立歴史博物館館長補佐)

「浜田のまちと教育」久保田章市氏

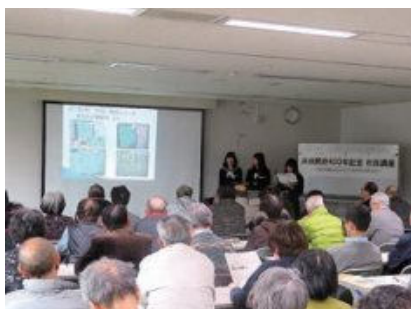
◇座談会

・パネラー 上記講演者、岩町功氏、隅田正三氏

・コーディネーター 久保田章市氏

延べ参加人数:730名

▶ 市民講座(観光ボランティアガイド育成勉強会)



浜田開府400年を迎えるにあたり、市民にふるさとの歴史を学び直す機会を提供し、開府400年の機運を醸成するため、郷土史家らが講師を務める講演会を月に1回のペースで実施しました。

また、これまで以上に観光客の入込が期待される浜田城跡や日本遺産外ノ浦を案内する観光ボランティアガイドの担い手の発掘を図りました。

〈第1回〉 平成29年12月17日(日)

※ プレ講演・座談会〈第3弾〉と兼ねて実施しました。

〈第2回〉 平成30年1月27日(土)

テーマ：たたら製鉄と地域経済

講師：隅田正三氏(西中国山地民具を守る会会長) 参加人数：86名

〈第3回〉 平成30年2月17日(土)

テーマ：浜田城と城下町

講師：阿部志朗氏(島根県立浜田高等学校教諭)、浜田高等学校歴史社研部 参加人数：98名

〈第4回〉 平成30年3月17日(土)

テーマ：浜田の海運と八右衛門

講師：森須和男氏(浜田市文化財審議会委員) 参加人数：82名

〈第5回〉 平成30年4月21日(土)

テーマ：浜田藩史

講師：鍵本俊朗氏(浜田市教育委員会市誌編纂室) 参加人数：91名

〈第6回〉 平成30年5月12日(土)

テーマ：司馬遼太郎さんと石見人～石州口の戦いと浜田落城～

講師：岩町功氏(石見郷土研究懇話会会長) 参加人数：92名

〈第7回〉 平成30年5月19日(土)

テーマ：浜田城・城下町を歩く(現地説明)

講師：浜田市教育委員会職員 参加人数：67名

〈第8回〉 平成30年6月23日(土)、30日(土)

テーマ：幻の広浜鉄道今福線(現地説明)

講師：石本恒夫氏(今福線ガイドの会会長) 参加人数：52名

〈第9回〉 平成30年7月14日(土)

テーマ：石見昼ヶ浦(現地説明)

講師：桑田龍三氏(石見昼ヶ浦研究会会長) 参加人数：35名

延べ参加人数：813名

▶ はまだ市民ガイド養成講座



開府400年祭にあわせてガイド需要の高まりが予想される浜田城跡及び日本遺産外ノ浦の観光案内ができるガイドの養成を目的に実施しました。講座終了後、受講者14名のうち8名が浜田市観光ボランティアガイドの会に入会し、現在一緒に活動しています。

《第1回》 平成30年9月1日(土) 13:00~16:00

テーマ：ガイドの心得、応急手当講習

講師：安立聖氏(石見銀山ガイドの会会長)、浜田市消防職員

《第2回》 平成30年9月15日(土) 13:00~16:00

テーマ：浜田藩史

講師：鍵本俊朗氏(浜田市教育委員会市誌編纂室)

《第3回》 平成30年9月29日(土) 13:00~16:00

テーマ：外ノ浦(現地レク)

講師：小松真人氏(浜田市教育委員会)

《第4回》 平成30年10月13日(土) 13:00~16:00

テーマ：北前船と外ノ浦、浜田市郷土資料館見学

講師：楫ヶ瀬孝氏(郷土史家)、小松真人氏

《第5回》 平成30年10月27日(土) 13:00~16:00

テーマ：ガイドの会活動紹介、応急手当講習

講師：斎藤晴子氏(浜田市観光ボランティアガイドの会会長)、浜田市消防職員

《第6回》 平成30年11月10日(土) 13:00~16:00

テーマ：石見銀山(現地視察)

講師：石見銀山ガイドの会

《第7回》 平成30年11月24日(土) 13:00~16:00

テーマ：畳ヶ浦(現地レク)

講師：浜田市観光ボランティアガイドの会

《第8回》 平成30年12月8日(土) 13:00~16:00

テーマ：浜田城跡(現地レク)

講師：藤田大輔氏(浜田市教育委員会)

※ 終了後、修了式を開き、受講者の皆さんに終了証を手渡しました。

▶ P R 動画の作成



浜田開府400年祭でシンボリック的存在となる浜田城と、平成30年5月に日本遺産に追加認定された外ノ浦について紹介するP R動画を作成しました。これに浜田市教育委員会が作成した浜田城のC G動画を加えて、計3本の動画をYouTube上で公開しました。

《浜田城》

内容：浜田城を中心に見た400年の歴史 再生回数：3,972回（いずれも3月19日時点）

《外ノ浦》

内容：浜田藩と港、外ノ浦の役割について 再生回数：1,132回

《復元C Gに見る浜田城の姿》

内容：C Gによる浜田城の紹介（復元：三浦正幸、制作：株式会社エス） 再生回数：14,114回

▶ ハンドブック「今、知っておきたい浜田の400年Q & A」作成

浜田藩の開府以来、どのように浜田が発展してきたのか、浜田にはどんな偉人がいるのか、市民に分かりやすいようにQ & A形式のハンドブックを作成しました。

市内の全小学生3年生以上と中学生全学年に無料配布したほか、出前講座や事業説明会で配布しました。

発行部数：15,000部



▶ 出前講座・職員研修（平成30年度～令和元年度）



依頼を受けた事業所や町内会、サロン、小中学校などへ担当職員が出向き、浜田の歴史や浜田開府400年祭記念事業の紹介を行いました。直接市民と意見交換をしたり、浜田の未来について語り合える有意義な時間となりました。参加者には、ロゴマーク入り缶バッジをプレゼントしました。

また、平成30年12月に、市職員の関心を高め市全体で機運を盛り上げていくために、職員研修（全10回、456名参加）を行いました。

◇平成30年度	実施件数22件	参加人数565名	
◇令和元年度	実施件数24件	参加人数987名	合計46件、1,552名

■ 浜田開府400年祭記念式典



台風19号の接近が心配されましたが、多くの来賓及び浜田市縁の方々のご臨席の下、市民の皆さんと一緒に開府400年の歴史を振り返りました。さらに、市内の小中学生をはじめ次の100年を担う若い世代にも参加いただき、明るい浜田の未来を感じることができました。

また会場前を歩行者天国として「BUY 浜田昼市」を開催し、来場者に地元の食材を使った飲食ブース（17店舗）や郷土芸能ミニステージ（市内4団体）をお楽しみいただきました。

日時：令和元年10月13日（日）

場所：石央文化ホール 大ホール

主催：浜田開府400年祭実行委員会

▶ 浜田開府400年祭記念表彰

開府400年を迎えるにあたり、歴史・文化の継承や時代を超えた交流の分野で貢献が特に顕著であった団体・個人を表彰しました。

●郷土史文化の研究及び成果の公表・普及に功労があった団体・個人 3団体 7名

石見郷土研究懇話会
西中国山地民具を守る会
能海寛研究会
岩町功氏
桑田龍三氏
小川憲治氏
神山典之氏
児島俊平氏
森須和男氏
神本晃氏



●時代を超えた交流の振興に功労のあった団体 8団体

初雁温知会
美作濱田会
松阪市＊浜田市友好の会
浜田市＊松阪市友好の会
はまだ市民ララ会 ながの市民の会
中野市市民都市交流会「フレンズ」
糸魚川市都市交流協会



●その他会長が特別に認める団体・個人 1団体 2名

浜田大名行列保存会
楫ヶ瀬孝氏
土井博氏（故人）

▶ 小中学校作文コンテスト「夢・未来」

開府400年という歴史的節目に居合わせる市内の小中学生を対象とし、自らの夢や郷土への想いをテーマに作文を募集しました。式典では、小学生・中学生それぞれの最優秀賞受賞者が堂々と発表されました。

●小学校の部

最優秀賞	国府小5年	矢野	咲良さん
優秀賞	今福小6年	柿元	幹太さん
	周布小6年	吉原	春樹さん
	原井小6年	宮本	南実さん
	松原小5年	田中	楓介さん
優良賞	周布小4年	大音	美和さん
	美川小5年	山下	柊人さん
	三階小4年	平野	爽奈さん
	岡見小6年	植野	真さん
	三隅小5年	三浦	悠翔さん

(応募総数692点)



●中学校の部

最優秀賞	旭 中3年	官澤	明日香さん
優秀賞	第一中2年	野上	幸さん
	旭 中1年	野津	和真さん
	旭 中3年	岡山	倫大さん
	第一中3年	中島	梓さん
優良賞	第一中2年	奥迫	楓さん
	旭 中1年	島津	晴夏さん
	旭 中1年	文田	はなさん
	旭 中1年	三津山	あいさん
	三隅中3年	寺戸	心暖さん

(応募総数99点)



▶ 式次第

〈第1部〉 14:00～15:10

- 1、開式
- 2、オープニングアトラクション 石見神楽佐野神楽社中
- 3、記念動画「浜田開府から現在まで400年の歩み」
- 4、国歌斉唱
- 5、主催者あいさつ
浜田開府400年祭実行委員会 会長 久保田章市
- 6、来賓祝辞・祝詞紹介
- 7、浜田開府400年祭記念表彰

〈第2部〉 15:20～17:20

- 1、オープニングアトラクション みなと子ども園
- 2、小中学校作文コンテスト「夢・未来」表彰・発表
- 3、パネルディスカッション「400年に想う未来～次の100年に向けて～」
コーディネーター：田中輝美氏 コメンテーター：久保田章市氏
パネリスト：小川直城氏、河上清貴氏、
佐々木啓介氏、西川香澄氏
- 4、クロージングアトラクション 浜田高等学校書道部
- 5、閉式



来場者数 1,089名

■ 記念事業(令和元年度)

▶ 石州浜っ子春まつり(拡充)、浜田開府400年祭開幕前夜祭



浜田の春の風物詩として毎年盛大に開催されている「石州浜っ子春まつり」を浜田開府400年祭の開幕イベントとして位置づけ開催されました。

開府400年祭を記念し、浜田手づくり甲冑愛好会の皆さんを中心に「石州浜田武者行列」が披露されたほか、市内各地の田ばやしや、市外・県外の団体の皆さんが来浜し、一緒にパレードを盛り上げました。行列の最後は、観光・文化交流協定を結んでいる三重県松阪市の竹上市長と中島議長が、久保田市長、川神議長と共に騎乗しました。

《開府400年パレード・銀天街交差点ステージ参加団体》

浜田手づくり甲冑愛好会、川越藩行列保存会、松阪手づくり甲冑愛好会
松江城鉄砲隊、松江城姉さま鉄砲隊、出雲尼子を興す会、五風会
久佐・上長屋田ばやし保存会(金城)、上今明田ばやし保存会(三隅)

日時：平成31年4月29日(月祝)

場所：市内商店街

主催：浜っ子まつり実行委員会

※4月28日(日)には、浜田藩ゆかりの団体の皆様をご招待し、ジョイプラザで開幕前夜祭を開催しました。(123名参加)

▶ 「出張！なんでも鑑定団in浜田」公開収録



事前に観覧応募をいただいた1,772人・906組の中から、抽選の結果当選した1,033人の皆さんが来場し観覧しました。当日お宝鑑定を受けた5人(応募は101点)がお宝にまつわるエピソードを披露し、司会の石田靖さんとアシスタントの奈津子さんの軽快な進行のもと、鑑定士の安河内眞美さん、森由美さんによる鑑定結果を楽しみました。笑いあり、驚きありのアットホームな収録となりました。

日時：令和元年6月9日(日)

場所：石央文化ホール 大ホール

主催：浜田開府400年祭実行委員会

▶ 石州浜っ子夏まつり(拡充)



全国の浜田さんいらっしゃい事業の一環で、シンガーソングライター・浜田ケンジさんによるゲストライブが行われ、浜田ケンジさんには特別住民票を贈呈しました。さらに、全国から92名の浜田さんが来浜し、開府400年を記念した壮大な演出花火と一緒に鑑賞しました。

日時：令和元年8月3日(土)

場所：浜田漁港周辺

主催：浜っ子まつり実行委員会

▶ 巡回ラジオ体操・みんなの体操会



日時：令和元年8月17日(土) 6:30～NHKラジオ第一放送にて生放送

場所：浜田市陸上競技場ほか

主催：浜田市教育委員会

※ 参加者には開府400年缶バッジをプレゼントしました。

▶ 浜田開府400年記念協賛事業「浜田川で舟あそび」



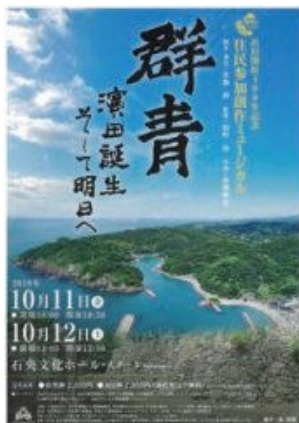
浜田川に親しむ親水イベントが初めて開催され、カヌーやメガサップレース、ステージイベント、周辺商店街ではランバイクレースやBUY浜田昼市など（商店街活性化事業・浜田商工会議所青年部）で盛り上がりしました。

日時：令和元年8月24日(土)

場所：浜田川周辺、紺屋町商店街

主催：浜田川で舟あそび実行委員会

▶ 住民参加創作ミュージカル「群青～濱田誕生、そして明日へ～」



父母、祖父母、さらに江戸時代へと遡り、明日への希望を模索する現代の若者の姿に、今津屋（会津屋）八右衛門や岸静江、島村抱月などの先人たちの生き様を重ねながら、浜田に生きる若者の愛と未来を描く、住民参加創作ミュージカルが上演されました。

（演出・脚本：木島恭 作曲：安藤由布樹 監修：岩町功）

日時：令和元年10月11日（金）18：30～、12日（土）13：30～

場所：石央文化ホール 大ホール

主催：公益財団法人浜田市教育文化振興事業団、浜田開府400年記念・住民参加創作ミュージカル『群青～濱田誕生、そして明日へ～』実行委員会

▶ 浜田開府400年記念「NHKのだ自慢」公開生放送



事前に観覧応募をいただいた2,877通の中から、抽選の結果当選した967人の皆さんが公開生放送を楽しみました。

本番に出場した20組（予選会出場250組）の皆さんの歌声とゲストの長山洋子さん、堀内孝雄さんの圧巻のステージに、観覧者はもちろん、全国の「のだ自慢」ファンの皆さんに楽しんでいただきました。

日時：令和元年11月3日（日祝） ※予選会は2日（土）

場所：石央文化ホール 大ホール

主催：NHK松江放送局、浜田開府400年祭実行委員会

▶ 各自治区の産業祭

各支所及びそれぞれの実行委員会で、浜田開府400年祭の盛り上げに繋がる企画や、歴史・文化の継承に繋がる企画を検討いただき、実施しました。

◆さざんか祭り

日時：令和元年11月2日(土)・3日(日祝)

場所：ふれあいジム・かなぎ

内容：①ミニ四駆開府400年記念大会(日本遺産認定記念、神楽ミニ四駆お披露目など)

②はまだPR大使 池端克章ライブ ③気仙沼ホルモンの出店

④日本遺産認定記念 市外神楽団等の招致

◆旭ふる里まつり

日時：令和元年11月10日(日)

場所：市民体育館、旭センター、旭保健センター周辺

内容：①気球で家古屋城を体験しよう

②三藩神楽響演(浜田藩、広島藩、津和野藩)

③開府400年で農林産物品評会400品チャレンジ

◆弥栄産業まつり

日時：令和元年11月3日(日祝)

場所：弥栄支所前イベント広場

内容：弥栄産のお米を使ったおにぎりの試食提供

◆みすみフェスティバル

日時：令和元年11月9日(土)・10日(日)

場所：三隅中央公園周辺

内容：①熊野町立熊野東中学校書道部による書道パフォーマンス

②チェーンソーアート(チェーンソーアート世界一の林隆雄氏による)

③かぶとと甲冑を着た町内保育所園児によるダンス



▶ 特別展「たたら製鉄と港・浜田」－古文書から読み解く地域経済－



期 間：令和元年5月1日～12月27日

場 所：浜田市金城歴史民俗資料館

▶ 浜田市浜田郷土資料館「浜田開府400年企画展」

○第1次

テーマ：「瓦からみる浜田城～江戸時代の藩札と通行手形～」

期 間：令和元年9月15日(日)～12月22日(日)

○第2次

テーマ：「浜田城と城下町～城下町に残る文化財～」

期 間：令和2年1月4日(土)～3月20日(金)



▶ 歴史サイン看板設置



市民や観光客に向けて、浜田の城下町を巡っていただけるよう、次の6か所へ浜田城下町案内板を設置しました。

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1 浜田城資料館(殿町) | 4 紺屋町広場(紺屋町) |
| 2 健康増進センター(すまいる)(松原町) | 5 栄町ロータリー(栄町) |
| 3 浜田市役所北分庁舎(殿町) | 6 元浜公園(元浜町) |

▶ 開府400年記念「浜田バル」



日時：11月15日(金)、16日(土)

参加：36店舗

主催：一般社団法人浜田市観光協会

▶ 浜田開府400年記念「浜田真理子コンサート」



出雲市出身で松江市在住のシンガーソングライター・浜田真理子さんのコンサートを開催しました。「全国の浜田さんいらっしゃい事業」の一環として、浜田の歴史・文化を体験できるツアーを企画し、紙漉き体験や浜田城跡を見てもらったほか、コンサートへ浜田さんを無料ご招待しました。

日時：令和2年2月2日(日)

場所：石央文化ホール 大ホール

主催：浜田開府400年記念事業「浜田真理子コンサート」実行委員会

▶ 第30回北前船寄港地フォーラムin浜田(フィナーレ)

※新型コロナウイルス感染症対策により「中止」となりました。

日時：令和2年3月14日(土)

場所：石央文化ホール 大ホール

主催：北前船寄港地フォーラムin浜田実行委員会、一般社団法人北前船交流拡大機構

● 特別セミナー

テーマ：「二つの日本遺産、北前船と石見神楽で広がる地域交流」

内容：講演①「北前船で繋がる浜田と日本各地」阿部志朗氏(益田翔陽高校教諭)

講演②「石見神楽の歴史と各地への伝播」藤原宏夫氏(島根県文化財課)

● フォーラム

テーマ：「歴史・文化を活かした地域活性、地方の観光新時代」

内容：基調講演 丁野朗氏(東洋大学大学院国際観光学部客員教授)ほか
パネルディスカッション

● キラピカ9(ナイン)フェス

フォーラム会場前において、石見地域9市町のキラリと光る品が一堂に集う「キラピカ9フェス」を開催し、海の幸、山の幸をふんだんに使ったグルメをはじめ、石見神楽や「美肌県しまね」を代表する温泉の手湯体験などをお楽しみいただく予定でした。

主催：石見観光振興協議会



▶ 全国の浜田さんいらっしゃい事業



記念事業として市の名前にちなんで、6つの特典を用意し、全国の浜田さんをお迎えしました。
※ 実績はいずれも令和2年3月19日時点のものです。

《特典1》 宿泊費の助成

期間：2019年4月1日～2020年3月31日

内容：市内宿泊の浜田さん本人と同行者1名様まで1泊あたり5,000円を助成※期間中1泊のみ

実績：203組347名

《特典2》 特別住民票の発行

期間：2019年4月1日～2020年3月31日

内容：特別住民票の提示により、市内13施設で割引特典を用意(5年間有効)

実績：275名発行

《特典3》 浜っ子夏まつり特別観覧席ご招待

日時：2019年8月3日(土)

内容：浜田さん(市内在住者含む)と同行者1名様まで花火大会の特別観覧席へご招待

実績：92名

《特典4》 浜田さんの日 夜神楽ご招待

期間：毎週土曜日(2019年4月6日～2020年3月28日)

内容：浜田さん本人と同行者1名様まで夜神楽鑑賞料を無料&神楽グッズをプレゼント

実績：30名

《特典5》 萩・石見空港利用「航空運賃補助」

日時：2019年4月1日～2020年3月31日

内容：萩・石見空港⇄羽田空港で、特典①をご利用の方に限り、往復6,000円(片道3,000円)を補助(提供)萩・石見空港利用拡大促進協議会

実績：11名利用

《特典6》 浜田真理子コンサート&浜田さん限定ツアー

日時：2020年2月2日(日) 石央文化ホール

内容：浜田真理子コンサートへ無料ご招待、同日午前に浜田の歴史・文化を体験できる浜田さん限定ツアーを開催

実績：6名

■ 後援事業・市民主催事業(実施順)

市民団体等が行う記念事業の後援をしました。また、市民協働活性化支援事業補助金（まちづくり推進課）の拡充を行い、開府400年を記念した市民主催事業を支援しました。

三隅つつじまつり



日時：令和元年5月3日(金)～5日(日)
場所：三隅公園
主催：三隅つつじ祭り実行委員会

国際ソロプチミスト浜田 浜田開府400年記念チャリティーゴルフ大会



この大会収益金をもって、市内の公立幼稚園に園庭遊具や運動用品などが寄贈されました。

日時：令和元年5月12日(日)
場所：金城カントリークラブ
主催：国際ソロプチミスト浜田

はまだ未来文化祭 はまだdeシャルソン



日時：令和元年6月9日(日)
場所：浜田市内
主催：浜田未来文化祭はまだdeシャルソン実行委員会

浜田開府400年記念ウォーク in城址・松原浦



日時：令和元年6月16日(日)
場所：浜田城址、松原浦
主催：浜田市ウォーキング協会

ランバイクを通じた幼児スポーツ 2019ライジングサンスポーツ王国 活性化事業



開府400年関係イベントと併せて
ランバイクイベントが開催されま
した。

日時：令和元年8月3日(土)ほか
場所：石州浜っ子夏まつり市民広場など
主催：ランバイクチーム GoRise



日時：令和元年8月17(土)、18日(日)
場所：旭運動公園内
主催：あさひライジングサンスポーツ王国実行
委員会

浜田の石見神楽講習会 浜田の石見神楽定期試験



日時：令和元年8月24日(土)、25日(日)
場所：浜田商工会議所
主催：浜田商工会議所

講演会浜田地震と「震災記念之碑」 －石碑は何を語る－



日時：令和元年8月31日(土)
場所：浜田市立中央図書館 多目的ホール
主催：浜田川をかわいがろう会

浜田開府400年記念事業 三浦義武生誕120周年記念イベント 浜田でコーヒーを楽しむ会



日時：令和元年9月14日(土)ほか
場所：道の駅ゆうひパークはまだ
主催：ヨシタケコーヒー友の会、浜田市

女声合唱団“海音”mion つながる海の音



日時：令和元年9月21日(土)
場所：石央文化ホール 小ホール
主催：女声合唱団海音

浜田市から世界をめざせ！ポルセイド浜田&開府400年コラボ事業



日時：Fリーグディビジョン2ホームゲーム
場所：島根県立体育館(ホームアリーナ)
主催：浜田フットサルクラブ

表千家～時をつなぐ～秋の茶会



日時：令和元年10月6日(日)
場所：石央文化ホール
主催：表千家浜田地区会

浜田開府400年記念リレーマラソン



日時：令和元年10月12日(土)
場所：城山周辺コース
主催：浜田市陸上競技協会

開府400年記念ご朱印・スタンプ

【参加寺院】(順不同)★印はスタンプ
(浜田市内)

真言宗多陀寺 臨済宗安国寺 臨済宗玉林寺
日蓮宗龍泉寺 臨済宗寶珠院 臨済宗善福寺
臨済宗長福寺 臨済宗安楽寺 臨済宗隆興寺
臨済宗(萬壽寺)福恩寺 曹洞宗龍雲寺
曹洞宗観音寺 ★浄土真宗本願寺派真光寺
★浄土真宗本願寺派光西寺 浄土宗十念寺
浄土宗心覚院 高野山真言宗宝福寺・栗島閣
曹洞宗訂心寺 浄土宗極楽寺
★浄土真宗本願寺派萬泉寺 日蓮宗妙智寺
(江津市)
曹洞宗太平寺 臨済宗常福寺
★浄土真宗本願寺派蓮敬寺
(益田市)
臨済宗医光寺

日時：令和元年10月13日～令和2年3月31日
場所：各寺院
主催：隆興寺 柳楽一学さん

第3回高校生政策甲子園～開府400年を迎えた浜田市の未来を高校生と考える～



日時：令和元年10月20日(日)
場所：島根県立大学交流センター
主催：一般社団法人浜田青年会議所

RUN伴はまだ



日時：令和元年10月20日(日)
場所：浜田市内
主催：RUN伴しまね浜田エリア実行委員会

なつかしの国石見 2019日本石見神楽大会



日時：令和元年11月17日(日)
場所：石見文化ホール 大ホール
主催：日本石見神楽大会実行委員会

第44回石央ふれあい余芸大会



日時：令和元年12月1日(日)
場所：石見文化ホール 大ホール
主催：浜田ライオンズクラブ

浜田開府400年記念事業第5回山陰 浜田港マリン大橋リレーマラソン



日時：令和2年3月7日(土)
場所：浜田漁港周辺
主催：山陰浜田港マリン大橋リレーマラソン実行委員会

浜田の夜神楽週末公演2019



日時：原則、毎週土曜日20:00～
場所：三宮神社
主催：一般社団法人浜田市観光協会

■ 協賛商品

市内事業所に協力をいただき、記念グッズ（サービス含む）の販売を行いました。

▶ 記念ポロシャツ



協力：一般社団法人浜田市観光協会

▶ ゴルフボール



協力：有限会社セントラルスポーツ

▶ 復元浜田城ペーパークラフト



協力：いわみデザイン工房

▶ 瓦箸置き



協力：亀谷窯業有限会社

▶ 焼菓子(マロンケーキ・クッキー) ▶ 開府400年記念弁当



協力：錦榮堂



協力：浜田ニューキャッスルホテル

▶ クラフトビール6種



協力：株式会社三島ファーム

▶ 石州和紙はがき・しおり・缶バッジ



協力：かわひら

▶ お試しティーバッグ



協力：株式会社扇原茶園

▶ 浜田開府400年フレーム切手



協力：日本郵便株式会社波佐郵便局

▶ 浜田開府400年殿様会席



協力：ホテル松尾

▶ 浜田開府400年記念特別プラン



協力：浜田ゴルフリンクス

▶ 浜田開府400年参拝記念 御朱印判



協力：濱田護国神社

▶ 浜田開府400年記念純米酒「令和の刻」



協力：日本海酒造株式会社

■ 広報・P R

各種広報誌や媒体を活用し、浜田開府400年祭の広報・P Rを図りました。

▶ ホームページ



平成30年10月に専用サイト hamada400.jp を開設し、浜田の歴史やイベント情報を掲載しました。

※ 延べ閲覧数：89,805ビュー（平成30年10月1日～令和2年3月19日まで）

▶ 懸垂幕



市役所正面玄関に懸垂幕を設置しました。

また、浜田駅舎支柱にシール看板を貼り、市民や観光客にP Rを図りました。

▶ のぼり旗



ロゴマークとキャッチフレーズをあしらったのぼり旗を、市役所周辺や浜田駅、市内各公民館などに設置したほか、各記念事業実施時には貸し出しを行いました。

▶ 缶バッジ



記念事業について市民に広く知ってもらうため缶バッジを作成しました。職務中に市職員が着用したり、出前講座やラジオ体操、小中学校作文コンテストの参加賞として配布しました。

▶ 山陰中央新報「移動新聞社」／「あるっく。」広告掲載



▶ その他広報誌等掲載



しまね旅の縁

石見たび。

電気新聞

フリーペーパー等で、記念事業を紹介する特集を掲載いただきました。(その他多数)

▶ 公用封筒／公用車ステッカー



市の発送文書や窓口で交付する公用封筒を、開府400年仕様にしました。また市及び市内各事業所が所有する公用車、社用車、タクシーのリアガラス等に、記念ステッカーを貼り、機運醸成を図りました。

▶ パネル展示



市役所 1 階市民ロビーや市内公民館及び図書館、山陰合同銀行浜田支店、萩・石見空港などで、郷土の歴史を紹介するパネルを展示しました。

▶ 広報はまだコラム掲載

市報にイベント情報とコラムを連載しました。コラム内容は以下のとおりです。

平成30年10月号	「浜田開府」400年祭に込める想い(小川)
平成31年4月号	開府400年PRポスターの事(楫ヶ瀬孝さん)
令和元年5月号	浜田大名行列奴(小松)
令和元年6月号	浜田藩の産業の移り変わりとその後(森須和男さん)
令和元年7月号	北前船と石見焼・石州瓦(阿部志朗さん)
令和元年8月号	「開府300年祭」に触発されて～開府400年祭記念住民参加創作ミュージカル～(岩町功さん)
令和元年9月号	たたら製鉄と港・浜田～古文書から読み解く地域経済～(隅田正三さん)
令和元年10月号	伝統の石州瓦に付加価値を(亀谷典生さん)

▶ SNS発信(Instagram、Facebook)



@hamadakaihu400
浜田開府400年推進室



@hamada_kaihu400
浜田開府400年祭【公式】

イベント情報や郷土の歴史をテーマに、Instagram及びFacebookで情報発信をしました。

※ Instagram：194フォロワー Facebook：250フォロワー(いずれも令和2年3月19日時点)

▶ メディア出演

○エフエム山陰ラジオ

県政ラジオ番組「おがっちの『島根学講座！みたいな！』」

放送日：平成31年4月12日(金) 18：15～18：25 生放送

内 容：浜田開府400年の歴史やイベント情報を担当職員がPRし、山崎ていじさんの「サンセット浜田」をリクエスト曲として放送していただきました。

○FMラジオ4局ネット番組「ステーションらんでぶー」

放送日：令和元年5月6日(月) 14：40～14：47 事前電話収録

内 容：全国の浜田さんいっちゃい事業について、久保田市長がPRを行いました。

○石見ケーブルビジョン「浜っ子タイムズ」、各イベント告知

放送日：平成31年2月12日(火) 17：30～17：45、19日(火) 17：30～17：45ほか

内 容：「開府400年祭って、なんだろう？」



▶ 2019ひろしまフラワーフェスティバル花の総合パレード



日時：令和元年5月3日(金祝)

浜田石見神楽鬼軍団と開府400年を迎える浜田市のPRをしました。【パフォーマンス賞受賞】

▶ 島根ふるさとフェア2019



日時：平成31年1月19日(土)、20日(日)

浜田開府400年のメインブースを設け、せり市や干物焼き体験、パネル展示等を行いました。

▶ ひろしまはまだ会共催浜田開府400年ふるさと浜田紹介イベント



日時：令和元年6月19日(水)

広島駅南口地下広場で、トークショーやクイズ大会を行い浜田市のPRを行いました。

▶ 松阪市氏郷まつり



日時：平成30年11月3日(土祝)

初代藩主や駅鈴のご縁がある松阪市で、特産品の販売や赤てんの実演販売を行いました。

資料編

浜田開府400年祭実行委員会規約

(名称)

1. 本会は、浜田開府400年祭実行委員会と称する。

(目的)

1. 元和5年(1619)に浜田藩が開かれ、城下町の建設や港の整備により、今日の浜田市へと繋がる。平成31年(2019)に400年の節目を迎えることから、歴史・文化を再認識するとともに、市民の機運醸成を図り、各種記念イベントに官民連携して取り組むことを目的とする。

(事業)

1. 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
 - (1) 浜田開府400年祭の提案・決定・運営に関する事。
 - (2) 浜田開府400年祭の広報に関する事。
 - (3) 浜田開府400年記念式典の企画・運営に関する事。
 - (4) 全国規模のイベント誘致及び企画・運営に関する事。
 - (5) 浜田藩ゆかりの都市及び関連団体・イベントとの連携に関する事。
 - (6) 前5号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するため必要な事項に関する事。

(組織)

1. 本会は、別表に掲げる構成団体をもって構成する。
2. 本会の設置期間は、平成31年度までとする。

(役員)

1. 本会に、次の役員を置く。
 - (1) 会長1名
 - (2) 副会長2名
 - (3) 監事2名
2. 会長は、実行委員会において構成団体の互選により決定する。
3. 副会長及び監事は、会長が指名する。

(役員の職務)

1. 会長は、本会を代表し、会務を総理する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
3. 監事は、本会の会計を監査する。

(会議)

1. 実行委員会の会議(以下「会議」という。)は、必要に応じて会長が招集し、会長がその議長となる。
2. 会議は、必要に応じて委員以外の者を出席させることができる。

(議決)

1. 会議の議決は、出席委員の過半数の同意をもって決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

(経費)

1. 本会の経費は、市の負担金及びその他の収入をもって充てる。

(会計年度)

1. 会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。
2. 実行委員会の初年度における会計年度については、前号の規定にかかわらず、この規約の施行の日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

(事務局)

1. 本会の事務を処理するため、事務局を浜田市観光交流課開府400年推進室内に置く。
2. 事務局には事務局長及びその他の職員を置く。
3. 事務局長は、浜田市開府400年推進室長の職にある者をもって充てる。

(残余財産)

1. 平成31年度の事業終了後に有する残余財産の帰属は浜田市とする。

(その他)

1. この規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附則

(施行期日)

この規約は、平成30年2月8日から施行する。

(一部改正)

この規約は、平成30年5月25日から施行する。

■ 委員名簿

		構成団体	役職	氏名	任期
1	会長	浜田市	市長	久保田 章市	
2	副会長	浜田市議会	議長	川 神 裕 司	
3	副会長	浜田商工会議所	会頭	櫛 山 陽 介	
4	監事	石央商工会	会長	槇 岡 正 明	
5	委員	浜田自治区地域協議会	会長	村井 栄美子	
6	委員	金城自治区地域協議会	会長	渡 辺 学	
7	委員	旭自治区地域協議会	会長	馬場 真由美	
8	委員	弥栄自治区地域協議会	会長	賀戸 ひとみ	
9	委員	三隅自治区地域協議会	会長	木 村 正 行	～第3回 石田孝之
10	委員	浜田金融会	会長	田 中 修 司	
11	委員	(一社)浜田市観光協会	代表理事	岩谷 百合雄	
12	監事	浜田市文化協会	会員	山 崎 晃	
13	委員	石見郷土研究懇話会	会長	岩 町 功	
14	委員	浜田女性ネットワーク	理事	新 田 信 美	
15	委員	浜っ子まつり実行委員会	実行委員長	遠 藤 祐 之	～第8回 金子奨悟
16	委員	浜田商工会議所青年部	会長	金 田 康 平	～第5回 原田義貴
17	委員	浜田青年会議所	理事長	名 田 勝 之	～第4回 浅津伸行 ～第8回 櫛山太介
18	委員	浜田市公民館連絡協議会	副会長代表	瀧 口 嘉 輝	～第5回 岡本修治
19	委員	浜田市高齢者クラブ連合会	会長	新 田 勝 己	第5回～8回
20	委員	浜田市	教育長	石 本 一 夫	

■ 実行委員会開催記録

▶ 第1回

日時：平成30年2月8日(木) 9:00~10:30

会場：市役所4階講堂

議題：浜田開府400年祭実行委員会規約(案)について/浜田開府400年祭実行委員会役員選出について/浜田開府400年記念事業計画(案)について

▶ 第2回

日時：平成30年5月25日(金) 14:00~15:55

会場：市役所4階講堂

議題：浜田開府400年祭実行委員会規約改正について/浜田開府400年祭実行委員会事業計画(案)について/平成30年度事業予算(案)について

▶ 第3回

日時：平成30年8月10日(金) 14:00~16:00

会場：浜田市立中央図書館2階多目的ホール

議題：委員の委嘱について/PR業務の受託事業者決定について

▶ 第4回

日時：平成30年10月31日(水) 10:00~11:30

会場：浜田市立中央図書館2階多目的ホール

議題：委員の追加について/平成31年度予算(案)について/PR媒体の完成について/各事業の進捗状況について

▶ 第5回

日時：平成31年3月18日(月) 15:00~16:30

会場：浜田市立中央図書館2階多目的ホール

議題：平成31年度事業計画(案)について/平成31年度予算(案)について

▶ 第6回

日時：令和元年5月30日(木) 10:00~11:30

会場：浜田市立中央図書館2階多目的ホール

議題：平成30年度決算報告・監査報告について/浜田開府400年祭記念式典開催(案)について

▶ 第7回

日時：令和元年7月29日(月) 10:30~11:45

会場：浜田市立中央図書館2階多目的ホール

議題：浜田開府400年祭記念式典の調整状況について/浜田開府400年祭記念表彰について

▶ 第8回

日時：令和元年9月10日(火) 17:00~18:30

会場：市役所4階講堂

議題：浜田開府400年祭記念表彰の対象者について/浜田開府400年祭記念式典について/小中学校作文コンテストの応募状況と審査について

▶ 第9回

日時：令和2年1月30日(木) 14:30~15:30

会場：浜田市立中央図書館2階多目的ホール

議題：浜田開府400年祭実行委員会規約の改正について/浜田開府400年祭実行委員会令和元年度予算の補正について



浜田開府400年祭記念式典 クロージングアトラクション『邁進』（浜田高等学校書道部）

発行：浜田開府400年祭実行委員会

（事務局：浜田市産業経済部観光交流課開府400年推進室）

〒697-8501 島根県浜田市殿町1番地

TEL：0855-25-9530 FAX：0855-23-4040

発行日：令和2年3月